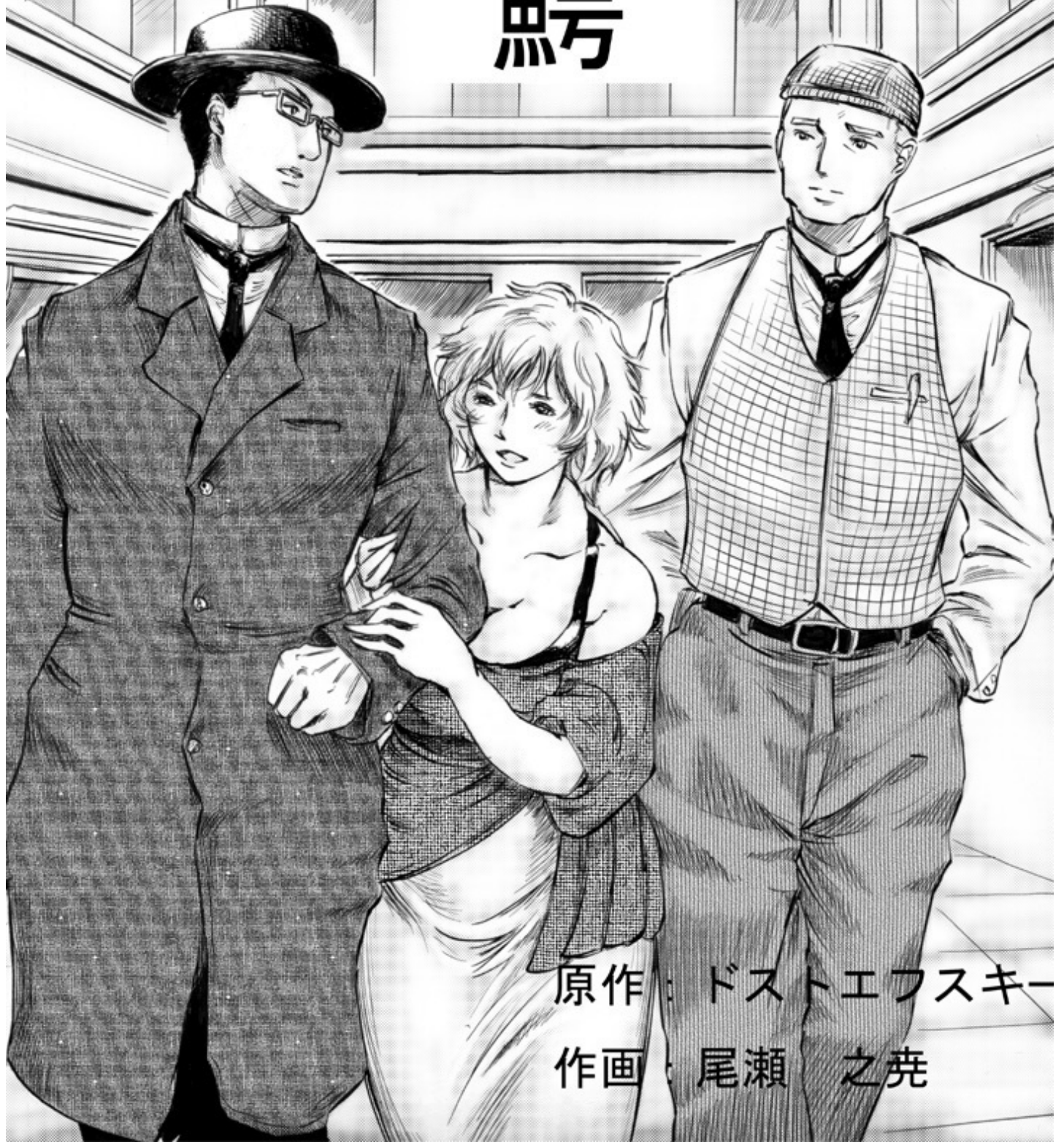


鰐

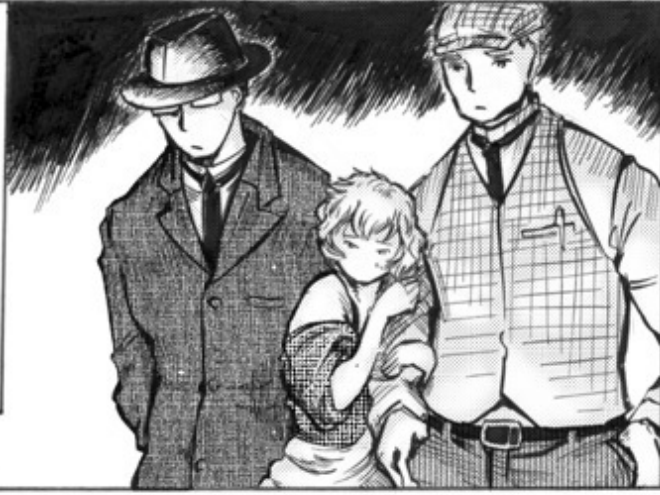


原作：ドストエフスキー

作画：尾瀬 之堯



私は親友である
イワンとその配偶者
であるエレーナ夫人
と共に



ロシアでは珍しい
ワニを見るため
見せ物小屋に
やってきた。

セミヨンさん
向こうでお猿を
見ませんか？

私、お猿が
大好きなのよ？



どうやら夫人は
もっと可愛らしい
動物だと思って
いたようだ。

そうですね

そんなに
恐がること
はないよ

お前

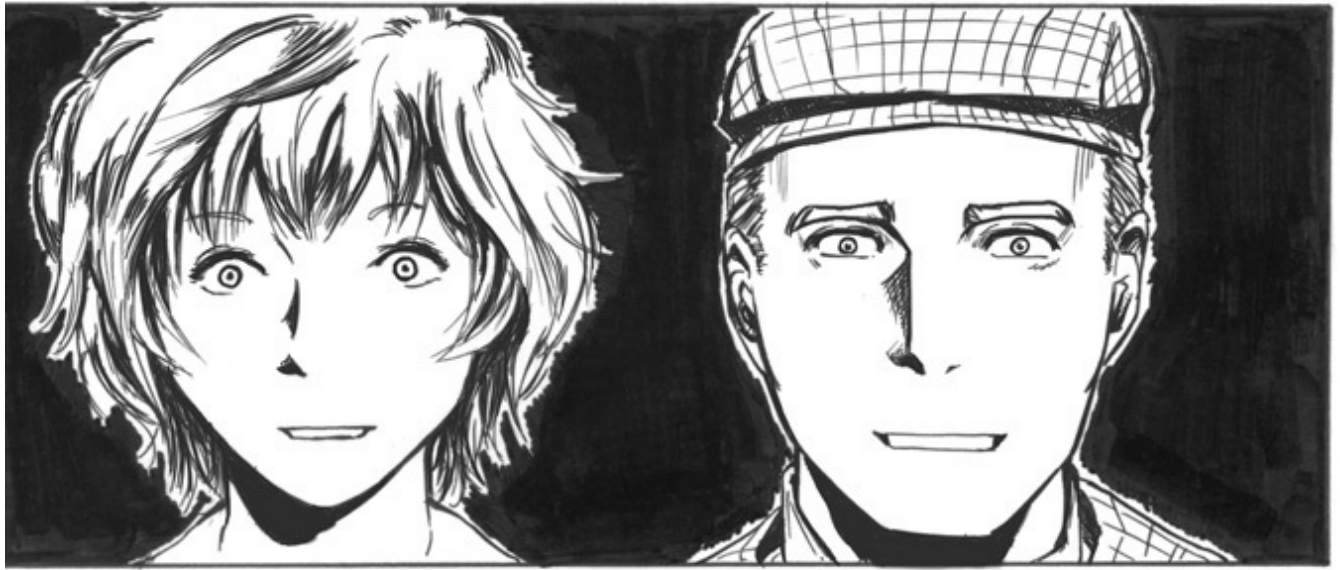






あーあーあーあー







イワアン

エレーナ夫人
落ち着いて!



カタ



裂いて!

ワニを
裂いて!



そんな

しかし
ワニを裂いても
無駄でしょう



ダメ
許さない!

ワニ死んだら
弁償ね!



なぜなら
イワンは、

もう・・・

君、それは違う
と思うね。



イワン

あなた、まだ
生きてらっ
しゃるのね！

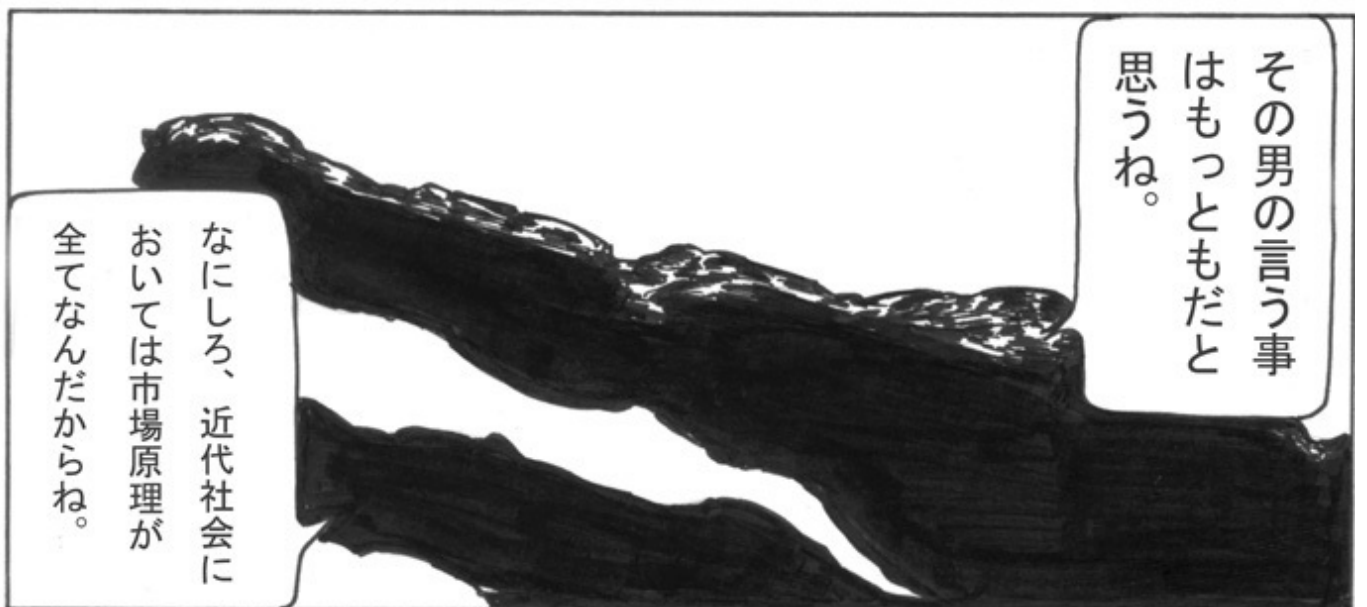


まあ、何よりも先
に警察だとは思
うがね・・・。



ああ、万事
問題ないよ

ワニの中があまり
に快適なもんで
僕も驚いている
くらいさ。







あとがき

「セミヨーンは親友イワンを救うことができるのか！？」

そして新婚間もなく一人残されたエレナ夫人の運命は！？」

・・・というところで、ドストエフスキー作「鰐」の第一章は終わりです。
この漫画は、小説の第一章の内容に基づいて描かれています。

文章で敬遠されがちなドストエフスキーを漫画にすることで
“笑えるドストエフスキー”の雰囲気だけでも伝われば幸いです。

ちなみに、エレナ夫人のキャラ設定が童顔巨乳であるのは、
ドストエフスキー自身が第二章で明確に記述したものであって、
決して、絶対に、著者の嗜好では御座いません。

尾瀬

之堯